

文献ゼミ

アメリカ大都市の死と生

3章 歩道の使い道—ふれあい

p. 73- 92

都市の歩道 = “公” お互いを知らない者同士を結びつける



信頼

・・・ 街頭でのささやかなふれあいで
時間をかけてつくられる

良い都市の近隣・歩道の役割

自分の基本的プライバシーを守りたい

プライバシー



バランスをとる



周囲との交流・楽しみ・助けを得たい

都市の世間

公人 . . . 仲介者、バランスの取れた一線を引く
固定公人・移動公人・専門的公人

私的な事柄については個人的責任はない

+

善意

1

2

3

4

公人がいなければ「一体感」かゼロ

「一体感」

多くを共有する



「誰と付き合うか」という
過度な選り好み

or

ゼロ

距離をとる



自己選別できないなら
一切かかわらない